



見い〜つけたあ〜!

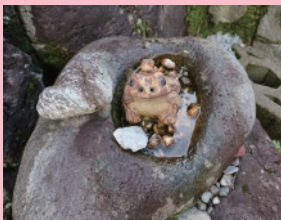
春江町
はつひろ
野村肇博さん(77歳)



はくろんはくろい
出品された「白雲白嶺」



お庭



奥様が見つけた「溜まり石」
水を溜めて、カエルちゃん
がいました。

今年10月に福井県産業会館で開催された「第72回愛^{あい}石展^{せき}」に行って参りました。この展覧会を主催された「福井愛石同好会」の会長がお客様の野村肇博さんです。野村さんと言えば、お孫さんが6人いらしゃる大家族でいらして、この日はお孫さんの一人、蒼宙(そら)君と一緒に。会場には38点、珍しい石ばかりが展示してあって私達は興味津々でした。そんな野村さんのお宅には、もっとたくさん石があるということでワクワクして取材に行ってきました。

野村さん宅には、玄関、床の間、お庭、敷地内のあちらこちらにたくさん石が置いてあり35年前まで住まわれていたお家の内外にもたくさんありました。自分が持って帰った石以外にも会を辞められた方から頂いたり「なんでこんな石、持って帰ってきたんやろ」と後で悔やむものもあるのですが、中にはお寺に寄付されたり人に譲ったりされたものもあるそうです。元家には磨いたり台座を作る作業場もありました。

石の収集を始めたきっかけは、農水省で働いていた30歳頃、職場の人に誘われたから。そして初めて連れられて行った足羽川で、はまったそうです。それから職場で石好きが4人集まり月に一回、九頭竜川、耳川、手取川、成願寺川、真名川、安曇川、瀬田川、愛知川などへ探石に行き、親睦会も兼ねて新潟の姫川温泉に宿泊するようにもなりました。

新婚の頃には、奥様と行かれたこともあるようです。また一人で、クワをリュックからぶら下げて河原を歩いていたら、不審者と思われ警察官たちに職務質問を受け警察署まで連行され取調室に入りましたが趣味の探石と判って頂き、やっと釈放されたこともあったそうです。探石に夢中になる理由は、気に入った石を見つけた時の喜びがあるからで気に入った石とは、「山水景石」という「水盤に入れば景色が見える石」。45年前に姫川でそれを見つけた時は、喜びのあまりもう卒業しようと思った程でした。が! 止められず今に至るそうです。

<野村さんがタイトルを付けた石や変わった石>



八



木枯らし



初日の出



仏石



いにしえの人



只今、会員募集しています。興味のある方、探石趣味の方、入会お待ちしております。年二回の展覧会があり、月例会では石を持ち寄って品評会や情報交換をしたり、県内外の展覧会見学、年一度の探石バス貸し切りツアーも予定しています。

体力、やる気も考えると若いうちに始めるのががオススメです。

お問い合わせは、福井愛石同好会
会長 野村 090-4688-3264 まで



野村さんと蒼宙君



元のお住まい



姫川で見つけた「山水景石」

「コロナ禍でしばらく行けませんでした。新潟の水無川で山水景石を見つけるのが夢なので落ち着いたら、また探石に行きたいですね」と野村さん。

次の展示会は、来年秋、同じく福井産業会館で尚山会(しょうざんかい)と合同で開催が決まっているようです。

興味があれば見に行ってみてください。いろんな石があって面白いですよ。 <祥代>

弊社のお客様で取材ご希望の方がいらっしゃったら是非ご連絡ください。団体でも構いません。

